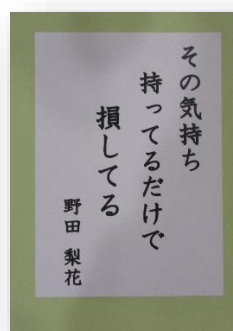
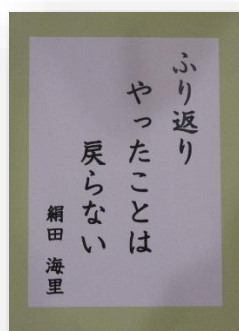
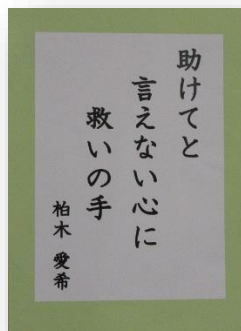
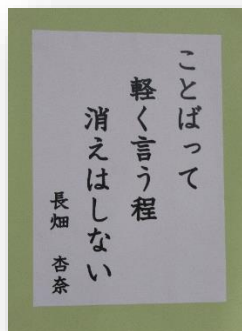
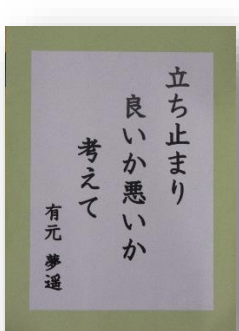
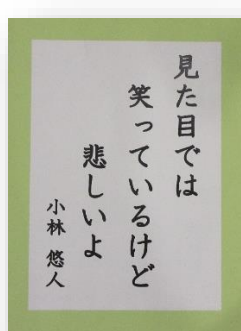
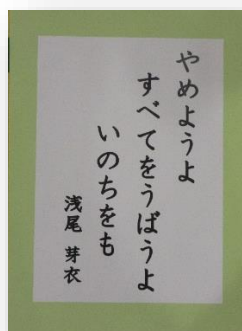




いじめは許さない！



毎日の生活ノートは全員提出、毎月の生活アンケートも実施しながら、生徒たちの心の声を拾います。



“いじめ0宣言”のできる学校をめざして、道徳の授業や学級活動でさまざまな取組や自分自身の気持ちと向き合っています。生徒たちが授業や学校生活を通して考えた標語。日常生活の心構えです。日常の行動で示しましょう。

7月5日（火）2，3
校時に図書室で実施

礼法も学ぶ

本年度も、着付けの先生方2名を

ゲストティーチャーとしてお招きして、浴衣の着付け体験を行いました。お辞儀の仕方や姿勢も学び、和装文化の意義を体感する時間となりました。「まず、始めに羽織り方、腰の骨から3本指の距離で重ねるとピッタリ浴衣が着れることがわかりました。」「去年はお母さんに着せてもらっていましたが、今年は自分で着てみようと思います。」「お辞儀の仕方では、先生方のお手本を見るとやっぱりきれいだなと感じました。」「お辞儀の練習の時に、手は三角のようにして、頭を下げると知りました。もし、浴衣を着てお辞儀をすることがあれば、必ず、今日教えてもらったことを生かして、お辞儀をしたいと思います。」等々、様々な感想に学習の意義が表れていました。

自分を守る！相手も守る！



7月5日（火）4校時、美作警察署生活安全課の方にインターネットモラルについて教えていただきました。



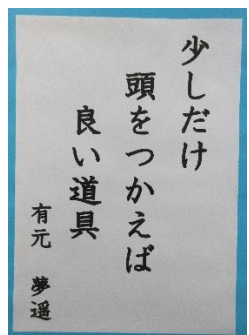
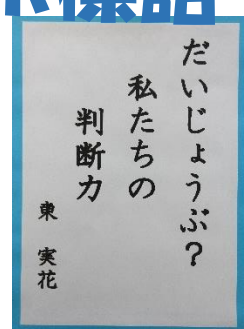
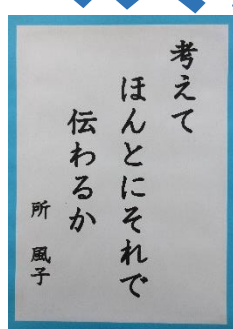
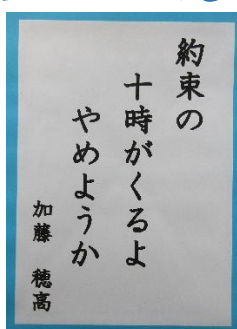
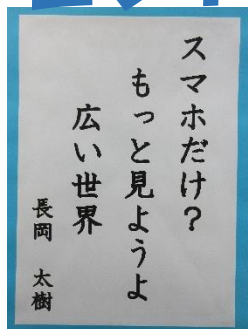
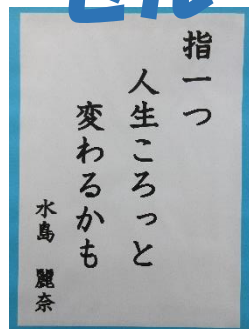
インターネットモラル教室

全校生徒が図書室に集い、SNS（ソーシャルネットワークシステム）社会を安全・安心に生活するための知恵や心構え・留意点、犯罪などについて学習しました。以下は、生徒の感想です。

「『大丈夫』という軽い気持ちで撮った写真をSNSなどに公開して、その写真が影響してお店のイメージが悪くなったり、多額の賠償金を支払わなければいけないなど、自分の将来にも大きく関わってくるようなことがあることを知りました。」「いろいろなことにあわないように安全にネットを利用するには、フィルタリングなどをかけることが大切だと分かりました。フィルタリングをかけると思うように使えなくなると思っても、自分が安全に過ごすために必要なことだと思いました。これからは、もっとインターネットを使うことが増えると思うので、気をつけて使っていきたいと思いました。」「ネット犯罪にあっている子どものうち、95%の人がフィルタリングを利用していないことを初めて知りました。」

本日8月5日（金）午後7時から、勝田小学校で保護者対象のスマホ・ケータイ研修会が開催されます。生徒たちも、毎年、スマホやインターネット上のトラブルやこれからの情報社会を生きるための基礎的知識を得る機会を設けています。保護者の方々も、ぜひ、いろいろな学習機会を利用して共に安全・安心な利用の仕方を学んで下さい。本日の研修会、一人でも多くの保護者の皆様のご参加をお願いいたします。

セルフコントロール！スマホ標語



スマ憲三ヶ条を制定した勝田中学校生徒会は、日常生活でスマホとの上手なつきあい方を定着させるために、全校生徒にスマホ標語制作を呼びかけました。その中から優秀作品を選び、生徒会長賞と校長賞を授与し、校内に掲示しました。この取組は、8月25日に開かれる美作支部中学校生徒会サミットでも紹介されます。自分たちの安全・安心な生活を守るためにも、利用の仕方を自分で制限する（セルフコントロール）力は不可欠です。「禁止されているから、叱られるから」ではなく、自分の考えや判断でセルフコントロールできる力を身につけましょう。

美作総体

決意表明

7月7日(木) 美作地区総体に向けて、壮行式を行いました。



どの部もりりしく、大会に向けた意気込みを堂々と宣言しました。柔道の部でも3年生の水島麗奈さんと1年生の加藤穂高さんが出場します。全員で応援する気持ちを高めました。

翌日から、美作地区各地で繰り広げられた美作地区総体。県大会には、卓球部の3年長畑杏奈さんが女子個人戦に、3年水島麗奈さんが柔道女子個人57kg級に、1年加藤穂高さんが柔道男子個人73kg級に出場。それぞれ善戦しました。

私たちの未来を支える！ 年金セミナー

7月11日(月)3校時に3年生が年金セミナーを受講しました。日本年金機構津山年金事務所から2名の方が来校され、年金について教えて下さいました。

年金について知らなかったことが分かったり、保険料を納めることの意義を改めて考えたり、たくさんの学びがありました。生徒たちも、「遠い先のことだと思っていたけど、身近でちゃんと考えないといけないと思った。」「ちゃんとお金を納めないといけないと思った。」「納めたお金がちゃんと返ってきていることがわかった。」といった感想を持っていました。

中学校社会科では、『公民』という分野を学習しています。社会生活に必要な知識や社会を支えている仕組みなどを学び、よりよい社会人として自立できる力を育てます。こうした視野を広げた学習を織り交ぜながら、3月の卒業に向けて豊かな社会性を育てていきたいと考えています。



過去から未来へつなぐ 心の架け橋



7月13日(水)に、全校生徒で長島愛生園を訪問しました。本年度、勝田中学校は文部科学省の人権教育研究指定校事業を受け、いじめや差別などを中心にさまざまな人権課題を学習しています。人権課題に関する知識や理解を深めると共に、健全な人権感覚を持って社会生活をおくる力を育てたいと思っています。

学校では、視聴覚教材等を用いたハンセン病に関する学習も進めてきましたが、実際に訪問することでより深い学習をすることができました。施設内見学でも、たくさんのことを知り、歴史的な意味や未来に向けた私たちのすべきことを考えることができました。当時の隔離政策のために、長い期間、わずか30mの海に隔てられていた長島と本土を結ぶ邑久長島大橋が開通したのは1988年5月9日。この橋は、ハンセン病が正しく理解されなかった過去と、正しい知識で偏見を生まない未来をつなぐ橋です。子どもたちが学ぶ人権課題について、ご家庭でも一緒にお話してください。

長島愛生園訪問



バザーへのご協力、 ありがとうございました！



7月16日（土）午後4時から、あんこう祭りで勝田中学校生徒会による恒例のバザーを行いました。前日、生徒会三役と専門委員長が汗をかきながら値付けをして準備をしました。本年度から生徒会役員も6名となり、全生徒数も37名と少なくなりましたが、地域の皆様や保護者の皆様のご協力をいただいて、バザーの品物もたくさん集まりました。当日の販売でも、勝田中学校のテントにたくさん来ていただき、ご購入いただきました。小学校の先生方や小学生も、たくさん協力して下さいました。また、生徒たちが会場内を回らせていただき、直接お声をかけさせていただき、たくさんの方にご購入いただきました。ご来賓の皆様のテントにもお伺いし、快くご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

おかげさまでもちまして、バザーの品物も完売となり、**57,430円**の収益になりました。このバザー協力金は、生徒会活動と部活動支援に使わせていただきます。生徒数が減少している現状ですが、勝田中学校生徒会にとって、このバザー協力金はとても貴重なお金です。心より御礼申し上げますとともに、ありがたく活用させていただきます。

ひたむきにがんばった1学期！

7月20日（水）1学期の終業式を行いました。スライドを用いて生徒たちの活動を振り返りました。本年度の合い言葉は『ひたむき』。生徒たちは、授業はもちろん、すべての教育活動に対して、まじめに一生懸命、取り組みました。集会での背筋を伸ばした姿勢、体育館に響く校歌斉唱。この1学期間、生徒の「ひたむき」さが校内外あらゆる場面で発揮されました。何事に対しても、まっすぐな瞳で、まっすぐな気持ちで向かうことのできる生徒たちは素晴らしい、そう感じることもできる勝田中学校であることを、これからも誇りにして頑張りましょう。



夏休みも、生徒の姿が学校に…

7月21日（木）には、生徒会の呼びかけでクリーン活動を実施しました。前日の終業式で生徒会長の唐澤賢汰さんが、「雨のため2回、中止となった生徒会クリーン活動を、部活動や有志の皆さんのボランティアで行いましょう！いつもお世話になり、見守っていただいている地域の皆さんのお役に立ちましょう！」と呼びかけました。卓球部、野球部、3年生有志とたくさんの参加を得て、通学路の空き缶やゴミ拾いをしました。また、午後には、3年の鷹取侑也さん、鷹取和也さん、唐澤賢汰さんが草刈りボランティアをしてくれました。校舎周辺がすっきりと美しく整いました。

7月22日（金）からは、夏休み前半の夏期セミナーが4日間あり、暑さに負けず、勉強しました。

夏も「ひたむき」です。



ゴミの分別



通学路をきれいに



技！

